

12月議会に提出されていた

「国保料の引き下げと減免制度の拡充を求める請願」

——日本共産党以外が反対し否決される

12月議会に提出され、閉会中の継続審議になっていました。2月1日に民生常任委員会で審議され、20日の今議会初日採決となりました。2677筆の署名が届けられました。委員会で安藤議員が請願の紹介議員として提案の趣旨説明、20日の本会議で増永議員が賛成討論を行いました。結果は日本共産党以外が反対で否決となりました。

摂津市の国保料は、昨年と一昨年の2年連続値上げにより、年間所得200万円40歳代夫婦と子ども2人世帯で年間約37万円となり、払いきれないと悲鳴が上がっています。摂津市の国保会計は21年ぶりに黒字となり、その額は1億7千万円で、引き下げる財源はあります。また2年後の国保の「統一化」は、市民にとって百善あって一利無しです。保険料が統一化されれば北摂各市は軒並み大幅な引き上げになること、歴史的に市民と摂津市が作り上げてきた市独自の減免制度や一部負担金減免制度、そして、市民に寄り添った様々な対応ができなくなることから、市として「統一化」に反対と声を上げるべきです。

2月半ばに大阪府が「国保が統一化後の場合の保険料仮試算の発表。摂津市の保険料は1人当たり1万77774円の値上げになる見込み。「統一化やめよ」の声をみな上げましょう。

### ●北摂で一番高い上下水道料金の引き下げを求める請願署名にご協力ください

今市民団体のみなさんとともに、「この署名に取組んでいます。6月の市議会に提出の予定です。2ヶ月ごとに請求される上下水道料金は、1ヶ月20立方メートル使用の場合、最も高く、一番低い吹田市の1.36倍、年間で1万6056円も高い状態です。摂津市は史上最高の146億円の基金（貯金）を持ち、水道会計はこの14年間連続黒字です。財政面からしても引き下げは可能です。一緒に署名を集めて

## 新年度予算案の特徴（概要）

### 市民の側から見ての問題点

◆市役所の責任弱めるいっそうの民間委託拡大— (1) 学童保育の民間委託 (H29年度途中からでもと発言)、(2) 学校校務員の民間委託 (H29は鳥飼西小、摂津小、第2中の3校)、(3) 小学校給食業務の民間委託 - 千里丘小 (5校目)。◆市民サービスコーナーの4月からの廃止 - 代替として「取次サービス」を6カ所で行う (千里丘公民館、コミプラ、別府コミセン、味生公民館、安威川公民館、新鳥飼公民館)。◆国保の統一化に市は反対を表明していない。◆府の福祉医療費助成制度の改悪 (H30年4月実施で動いている)。◆水道と下水道の統合 (会計も公営企業に)。◆別府公民館用地の売却 (5千万円)。◆高齢者インフルエンザ予防接種自己負担が1000円から1500円に。◆介護保険の新総合事業開始。◆マイナンバー関連で自治体同士での個人情報提供を受ける (5/30日から)。◆旧味舌小学校の解体

### 市民要求の実現の内容（市民にとって良い事）

◆公共料金は据置き。◆千里丘駅東側エレベーター取替。◆介護保険新総合事業で1年間は要支援の方へのサービスは現行で。◆国保料の5割、2割法定減免拡大 (5割 - 20世帯、2割 - 10世帯)。◆正雀駅前と千里丘三島線道路整備に向けての作業。◆母子健康手帳交付時に保健師による全数面接を。◆ピロリ菌抗体検査 (血液検査) の実施。◆小規模民間保育所1カ所 (19人以下) - しかし待機児童が多数であるのでは。◆各小中学校のトイレブースに洋式トイレ設置、学校図書増冊。◆3公民館 (味生、新鳥飼、鳥飼東公民館) のバリアフリー化 (エレベーター設置等) 検討。◆図書館の広域利用の開始 (650万冊)。◆山田川公園内の民間保育所誘致へ。◆サンドライビングスクール前交差点に押しボタン式信号機設置 (2/27)。◆一津屋第一団地外壁改修。◆デジタル防災行政無線へ整備。◆三箇牧鳥飼雨水幹線工事 (H30完成予定)、鳥飼八町地区の汚水整備、東別府雨水幹線工事設計など。◆大正川河川敷の遊歩道に距離標を設置。◆市内地図 (公共施設が入った) 1万5千部。市ホームページ全面リニューアル。◆阪急バス - バスロケーションシステム導入。◆摂津みんな体操三部作にロコモティシンドローム防止体操を。

## 第1回定例議会の日程

3月6日	月	代表質問
7日	火	代表質問
9日	木	建設・民生常任委員会
10日	金	総務・文教常任委員会
13日	月	常任委員会予備日
15日	水	常任委員会予備日
16日	木	駅前等再開発特別委員会
17日	金	一発質問締切
27日	月	議会運営委員会
29日	水	一般質問・議案採決

## 森山市長が22歳までの医療費助成制度拡大を表明!!

日本共産党は、昨年の市長選挙時でも「高校卒業までの拡大」を訴えてきました。今回森山市長が22歳迄拡大を表明しましたが、日本共産党は、学費の負担がかさむ高校生や大学生を持つご家庭への経済的な支援という点では重要なことと考えています。同時に重要なことは、一点豪華主義に陥らず、子育て世代が必要としている大切な子育て支援や教育施策の充実もしっかり図ることです。昨年、摂津市は子どもの入院時の食事代補助を住民非課税世帯を除き廃止しました。大阪府内ではわずか5市のみの改悪です。入院時食事代補助の復活をはじめ、100名を越す待機児童の解消、喫食率3%台のデリバリー方式選択制中学校給食や就学援助金制度の改善、給付型奨学金や少人数学級などに背を向ける姿勢を改めなければなりません。

引き下げ実現に力を合わせましょう。署名用紙が必要な方はご連絡ください。ご協力をよろしく願います。